

木馬会会報 (第110号)

＊ 皐月賞特集 ＊



99/04/16

～木馬達の予想～

本誌 トウインクルダンディ

◎アドマイヤベガ ○ニシノセイリュウ ▲ナリタトップロード

△マイネルタンゴ、マイネルプラチナム、ワンダーファンク、ティエムオペラオー

抜けた存在がいなくても混戦だが、ここも武豊を信じて本命はアドマイヤベガ。名牝ベガの息子に武なら2着は外すまい。対抗も名牝ニシノフラワーの息子ニシノセイリュウ。鞍上河内ならキャリア不足の子の馬を上位に持ってくることも可能だろう。

騎手がいただけないが、トライアル好走のナリタトップロード、穴をあけるならマイネル2頭にワンダーファンク、詰めが甘そうだがティエムオペラオーまで抑えればOKだろう。

～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎…アドマイヤベガ、○…マイネルプラチナム、▲…ナリタトップロード

△…ティエムオペラオー、ヤマニンアクロ

桜花賞も例によって3着4着という、いつも通りの結果に終わった。最終的にはスティンガーを切ったのは正解だったが、トゥザヴィクトリーがゴール前つかまり、ゴッドインチーフは伸びきれず。武が来るのは仕方ないにしてもまさか福永とは、...

皐月賞こそは武・アドマイヤベガで決まり。弥生賞は、負けはしたものの、負けて強しの印象。スタートがどうもという馬なので、多頭数の本番で直線ごちゃついてしまえば昨年のスペシャルウィーク同様、差し切れないことも考えられるが、そうそう武が毎年同じ失敗をするとも思えない。連勝中のナリタも怖いやはりベガの力が一番であろう。素直に本命。

相手には、マイネルプラチナム。半年ぶりの若葉Sをあまりにも鮮やかに勝ちすぎたため、惑わされているような気がしないでもないが、不良馬場である脚をみせられては期待せざるを得ない。走りすぎの反動というか2走ボケが気になるが、それはないと信じて対抗評価。

マイネルにしようかナリタにしようか悩んだあげく、直線一気に騙されて(?)マイネルを○にしたため、▲はナリタトップロード。弥生賞では実際にベガを完封したのだから強さはあるのだろう。ほとんど○に等しい▲。当日PATを起動して、馬券を購入するまで、マイネルかナリタで迷いそう。

以下、ダービーの方がおもしろそうな連勝中のティエムオペラオーと人気薄でノーマークだったとはいえ共同通信杯勝ったヤマニンアクロが押さえ。

メニーフレンズ

最近、歳のせいか弱気の予想を木馬会でするようになってしまった。やはり、私とて「人の子」。木馬会の強制退会措置が恐いのです。確かに桜花賞は的中したが、ステとプリちゃんの「ダブル本命」によるもの。おかげで、トウインクル氏に馬鹿にされてしまった。でも、なんとか強制退会の恐怖が一步退いたので、今回から「攻めの予想」に戻りますので、勘弁してね。

そこで、皐月賞ですが、固いんだよなあ。このレースも。昨日は前哨戦の大井の羽田杯も単勝1.7倍の大本命が勝ちゅうし。まあ、実際は「複穴」を狙うことになると思いますが、木馬会ではそういうわけにはいきませんので。私の予想は、「重の適性」「血統」「ローテーション」から

◎ドラゴンブライアン ○タイキヘラクレス

△アドマイヤベガ、ティエムオペラオー、トウカイダンディ、ナリタトップロード

マイネルシアター、マイネルプラチナム

にしました。嫌いなブライアン生駒ですが、仕方がない(別に、中日の好調さや、ドラゴンアッシュの大ヒットにあやかっただけではありません。念のため)。

栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

中山グランドジャンプは楽しかったし興奮した。それと大江原隆の勝利ジョッキーインタビューは感動したなあ。グランドジャンプでは大江原、田中剛、嘉堂という障害一流ジョッキーで1～3着。やっぱり障害は騎手だなあ。大江原兄弟(哲、隆)は私と兄(孝、智)と字は違うが同じ読みでなんとなく親近感があったこともあるが、今まで兄弟で障害を盛り上げるために努力してきた姿勢を応援してきた。ゴールのガッツポーズのなんとしぶくカッコ良かったことか。大川も言っていたが、障害競走の人気の高まることは間違いないだろう。それにしても45倍もつくとは。おいしかったなあ。

さて皐月賞。今年は4頭に絞れる。弥生賞組からNトップロードとAベガ。TR組はレベルが低く、道悪での結果であって消し。若葉S組は休み明けのMプラチナムの強さだけが目立った。札幌3歳の結果がフロックでなかったことを証明した。休み明け激走の反動は心配だが...毎日杯を勝ったTオペラオーの切れ味は見事で、嵌まれば連の可能性がある。実力的にこの4頭で決まる確率は非常に高いとみている。特にAベガは休み明けを叩いての上積みが見込めるし、前走は完全にTRの戦いかた。90%連ははずさないだろう。

弥生賞3着のマイネルシアターは権利取りに徹しての3着であり、1,2着馬との実力差は歴然としている。若葉S2着Dブライアンは素質はあっても、現時点ではどうか? Nセイリュウは前走後飼葉がまるつきりあがり、1ヶ月以上追いきりができない状況になっていた。いくら血統がよくても、ここで来れるようなわけものではない。Oブライアンは1月までの実績なら人気になっておかしくないが、前走馬体減で凡走。短期間に復活するタフさはないだろう。1頭連穴なら、トウカイダンディ。弥生賞3番人気、1度叩いての上積みを見込んでいいだろう。無欲の追い込みに徹すれば面白い。

馬券としては、この7点で損をしないように買うだろう。ベガをはずした馬券は結構つくだろうし、ベガダンディも結構おいしそうだ。

◎若草S(土曜阪神10R)

無理に皐月賞を目指さず、ダービーを目標にしたペインテドブラックで堅い。ダービーではAベガの強敵になるものと思っている。それほど豪快な走りをする。関東の秘密兵器であると勝手に思っている。

ペイントドからコスモ、タヤス、フューチャ、ホット、マイネル、メイショウへの6点で十分。長期休養明けのフューチャ、ダート1勝馬のメイショウが予想外に人気になるようだと、他の4頭への馬券が面白い。

△小倉大賞典(土曜中京 11 R)

サンブレイス、ツルマル、マルカ、トウショウなど面白そうな馬が多いが、シンカイウンであっさりの可能性もあり、見送りか。

×プロキオンS(土曜阪神 11 R)

別定戦なので、ばりばりのオープン馬同士で決まるだろう。イソノ、オーズミ、タヤス、ピーマイ、マコト、ワシントンの6頭のどれで決まってもおかしくなく、絞ることもできないので見送り。

○エイプリルS(土曜中山 11 R)

断然と思われたアラバンサが出走回避して俄然面白くなった。復調なればミラクルタイムでいいが、あまり満足できる中間の調教量ではない。ツクバも休み明けで調教がもの足りず、ローゼンもそうだが、この相手だからといって連には、というタイプではない。ここは、休み明けで人気も無いが一人旅確定のウメノダンサーが面白いんじゃないか。

◎ベンジャミンS(日曜中山 8 R)

この低レベルの顔合わせなら、サヤカが軸。人気のブラックタキシードは極端なレースしかできず、信頼性に乏しい。人気薄のアップルトウショウ、スナークテイオーが面白そう。

×卯月S(日曜中山 9 R)

低レベル。レディボナンザ、シンボリスウォードですんなりの可能性高く、他にといって狙える馬がない。見送り。

先週は、土曜は中山最終の万馬券をぶち当て、日曜は中山10R～12R、阪神9Rとやった4レース総てを的中(中山11Rは残念ながら枠連だったが)。現在6R連続的中中。と、いうことで、今日は調子にのってたくさん予想してしまったかな。ちなみに桜花賞の投資額は0。競馬を始めて以来、クラシックをただ見ていただけというのは初めてである。結果は大正解だったが、こんなところにも成長の後が伺えるのでは？現在の回収率78.9%

F E L A

武が同じ相手に同じ馬で連続で負けるのは考えにくい。今回は何とかしてくれるだろう。今週末の天気は分からないが、良馬場でのアドマイヤベガの爆発を期待したい。しかしながら、皐月賞ではブライアンズタイム産駒の相性が良い。あのしぶとさ、エイシンキャメロンを破った実績からもナリタトップロードもやはり恐い。そして3戦目ながら底を見せていないニシノセイリュウ。母は私でも知っているニシノフラワー。先週は福永、武の2世によるワンツーであった。今度はベガ、ニシノフラワーの(私でも知っている)2世のワンツーで決まるかも。後は、毎日杯を勝ったティエムオペラオー、若葉ステークスのマイネルプラチナム、復調の兆しが見えるオースミブライトで勝負。

最近、まったく的中しない。メニーフレンズ氏にだけは負けたくないのだが…。

◎アドマイヤベガ ○ナリタトップロード ▲ニシノセイリュウ

△ティエムオペラオー、マイネルプラチナム、オースミブライト

～鈍才！ 洋二郎の無い知恵絞リ～

同期の結婚式等があり、2週間も馬券を買わずに気合を込めて買った桜花賞&中山Gジャンプ、さっそ

く外しました。結婚式会場の教賀に行く途中に、高速道路でタイヤがパンクするし、以前から調子の悪かったパワーウィンドは人力を駆使しないと閉まらないになっちゃったし、大変でした。今年は運がない一年なのかも、と感じさせられました。皐月賞も全然当たる気がしませんので、本命サイドで買います。च्छूंことで、本当はずーっとニシノセイリュウを本命にと考えてきましたが、アドマイヤベガとニシノセイリュウの2頭を◎にしました。どっちか連に絡むだろう、という魂胆です。ニシノセイリュウは、「調子が悪い」とのことでしたが、今週は「馬体がフックラした」などと牝馬もどきのコメントがつき、なんとか帳尻を合わせたようですね。一方、ベガは食欲がなくなったなどと、お坊ちゃまらしいところを見せているようですね。2頭とも不安がありますが、両方とも飛ぶような相手とは思えません。3番手は、迷ったあげくワンダーファングにしました。ヤマニンが逃げるようなので2番手からになりそうですが、やる気さえ見せてくれればアッと言わせる競馬ができるかもしれません。雨でも降ったら、ちょっと多めに買おうと思います。次いで、マイネルプラチナム、ナリタトップロードまで。ナリタは切ろうかとも思いましたが、なんせ弥生賞馬だし、今年の運を取り戻すためにも堅めにいきました。それでは、皆様の馬券的中、キャニオンロマン及び中日ドラゴンズの連勝をお祈りいたします。

◎ニシノセイリュウ、アドマイヤベガ

△ワンダーファング、マイネルプラチナム、ナリタトップロード

へなりん

みなさま、こんにちは。失踪中のへなです。不運なことにあと2ヶ月半もすれば、原電に戻ることになりそうなので、存在を思い出していただく意味で投稿させていただきます。

最近の競馬といえば、ベガ・ニシノフラワー・スカーレットブーケ・アドラーブルといった数年前の名牝たちの子供が活躍しています。もちろんSSやBT・TBといった偉大なるお父さんの影響も大きいのでしょうけど。これは非常に喜ばしいことだと思います。そこには「夢」がありますからね。(でもこれじゃPOGがつまらなくなってしまうですね。)そんな中、先週中京でオグリロマンズがなかなかの好タイムで勝ち上がってくれました。そう、あの桜花賞馬オグリローマンの子供です。お父さんがノーザンテーストということで、配合の良さを感じ、注目していました。クラシックという意味では出遅れてしまいましたが今後に注目してみたいですね。

前置きが長くなってしまいました。すみません。さて皐月賞。先週の桜花賞でTRの重要さを改めて思い知らされました。スティンガーがチューリップでも使い、トゥザヴィクトリーが当初の予定通りに4牝特を使っていたら・・・今こそ私は大金持ちでした。皐月のTRといえばやはり弥生賞。中5週での調整のしやすさ、同距離・同舞台という点で他よりかなり有利。必死に出走権を取りに行くスプリングS(中3週)や若葉S(中2週)とでは「フレッシュさ」が違ってきます。しかも今年は不良に重。いつも以上に疲れが心配です。やはり今年も弥生賞上位組に注目せざるをえませんか。とうことで○N トップロード○アドベガ・・・つまらん、全然面白くない。こんな予想をしているようじゃ駄目ですね。そこらの専門家と同じです。思い出せ2年前を。弥生賞で強烈な勝ち方をしたRゲイルが敗れ、追い込むMブライトが届かず超万馬券・・・穴になるのは、実績あるが低評価の先行馬！サニーB(若葉4→皐月11人気→1着)Fビザン(若葉2着→皐月12人気→3着)。今年当てはまりそうなのは・・・Wファング、Yアクロかな。でも2頭ともハナにこだわりがあるみたいなので、Hペース→自滅の予感。SスピードオーとDコマンドですね。ならば弥生3着なのに全然人気のない先行抜け出しMシアター。ふう。他で非常に気になるTオペラオーは皐月を自重してダービーに直行するならダービーを勝てるだ

けの器だと思うのだが・・・でもやっぱり強そう。

◎強さを信じてティエムオペラオー ○江田照大穴マイネルシアター

▲外枠ひいてねナリタトップロード

△使い過ぎだよドラゴンブライアン △黒豹だったの？マイネルプラチナム

△調教横綱シルクガーディアン △タンゴ3兄弟と呼ばないでマイネルタンゴ

後書き：今年の春のG1は武豊を外します。まずは先週手堅く1敗目・・・。

皐月賞だけが競馬じゃない！今週の一番の注目はペインテドブラックだい。

予想はウソヨ 四国の井崎

桜花賞は期待どおりのハイレベルの素晴らしいレースであった。先週も触れたが今年の牡馬はレベルが低い。アドマイヤコジーンだけは別格であっただけに故障が残念である。タイム評価は以下のとおり。

900万級はたったの4頭。500万も6頭しかいない。波乱ムードが漂う。

圏内馬 900万 芝+0.5秒、ダ+0.7秒以上(1200m以下), +1.0以上(1400m以上)

	3走前	2走前	前走
ワンダーファンク	+0.2	-1.1	+0.6 A
シルクガーディアン	-0.2d	+1.0	-0.4 B
マイネルプラチナム	-3.0	+1.1	-1.0 C
マイネルタンゴ	-0.3	-0.7	+0.5

圏内馬 500万(50音順) 芝、ダとも+0.0秒以上

	3走前	2走前	前走
タイクラッシャー	-1.4	+0.0	+0.2 上昇
タイキヘラクレス	+0.6d	+0.8d	-1.1
タガノブライアン	+0.4d	-0.2d	-0.7
ナリタトップロード	-0.3	+0.1	+0.0
ヤマニンアクロ	+0.3	-0.9	-0.1

参 考 (50音順)

	3走前	2走前	前走
アドマイヤベガ	-2.1	-0.6	-0.2 上昇
オースミブライト	-1.1	-0.3	-0.8
ティエムオペラオー	-1.5d	-0.2	-0.7
トウカイダンディ	-1.2	-0.4	-1.0
ドラゴンブライアン	-1.5	-1.0	-1.0
ニシノセイリュウ		-0.6	-1.6
マイネルシアター	-0.8	-0.1	-0.5
モンテカルロ	-0.4	-0.9d	-0.1

昨年の弥生賞のタイムは衝撃的であった。そのまま3強が皐月賞1~3着となった訳だが、今年は違う。タイム的にはスプリングSの方が上だ。そこを案に逃げ切ったワンダーファンク。先行馬が少なくヤマニンアクロぐらいしかいないのでまた案に逃げれそう。桜花賞では当日3Rで落馬しながらも大いに見せ場を作った幸君。その経験が今週活きるのでは。お母さんが大物という馬が多いが、ワンダーだってあのラブリースターだ。

若葉Sで鬼足を見せたマイネルプラチナム。若葉S組は皐月賞と相性が高い。昨年は度外視してよい。ジェニユインは重馬場で繰り上げ1着で皐月賞を制した。プラチナムも重馬場は決してうまいと思わない。2走ボケ、反動の懸念もあるが、調教タイムから見ても大丈夫そう。札幌3歳Sの衝撃を大切にしたい。

穴はマイネルタンゴだ。だんご3兄弟の流行から激走の予感。レース数が多すぎるかも知れないが、前走のメンバーはかなりのハイレベルであった。そこをきれいに差しきり勝ち。注目したい。ただ、上記2頭に比べると1枚落ちる。タイム評価からはこの3頭を挙げておこう。シルクガーディアンはカチタガールの子供だけに距離が問題だろう。

人気を集めそうな馬はレース振りは確かによろしい。彼らについては他の方がいろいろお褒めになると思うので私は全く取り上げないこととします。あとCMは見えていないが、女房が「今度はポーリングやってるよ」と教えてくれた。ポーリングなら「10番」を大事にしてみたい。

◎ワンダーファンク ◎マイネルプラチナム ▲マイネルタンゴ

第59回 皐月賞

	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
	マイネルプラチナム	タイクラッシャー	マイネルタンゴ	シルクガーディアン	カシマアルデル	ドラゴンブライアン	ティエムオペラオー	オースミブライト	ニシノセイリュウ	タガノブライアン	ナリタトップロード	ヤマニンアクロ	トウカイダンディ	マイネルシアター	タイキヘラクレス	アドマイヤベガ	アドマイヤベガ	ワンダーファンク	馬名
	木幡	松永幹	柴田善	横山典	的場	菊沢隆	和田	蛸名	河内	藤田	渡辺	勝浦	後藤	江田照	田中勝	岡部	武豊	幸	騎手
	△		△				△		○		▲						◎	△	トウカイダンディ
	○						△				▲	△					◎		ライスシャワー
	△						▲	△	△		○						◎		ラッキー
	△					△	△			○	◎		▲				△		ミスターX
			△	△		△					◎						◎		ドラゴンジョ
	△					◎	△				△		△	△	○		△		心配御無用!
	◎						▲				○						◎		TP
	▲						▲	△	▲		○		△				◎		FELA
	△						△	△	◎		△						◎	△	洋二郎
	△		△	△		△	◎		△		▲			○			◎		おけらくん
	△						△				▲						◎		へなりん

桜花	皐月	天春	NHK	高松	オース	優駿	安田	宝塚	秋華	天秋	菊花	リウ	マユ	J C	阪北	朝日	スプリ	有馬	フェア	桜花
トウカイダンディ	◎									☆		○	○	○		○		○	○	○
ライスシャワー	◎			◎								○						○		○
ラッキー						◎						○		○						○
ミスターX		○				◎														○
ドラゴンジョ												○		○						○
心配御無用!													◎			☆				○
YO	◎											○								○
TP												○		○						○
FELA		○										○								○
洋二郎																				○
おけらくん																				○
へなりん		○																		○

次号は天皇賞号です。